



毎月第1・第3日曜日発行
広報みたかはシルバー人材センター
の会員がお届けしています。

発行:三鷹市
編集:秘書広報課
〒181-8555 三鷹市野崎1-1-1

市役所代表電話
☎0422-45-1151(代)

ホームページ
http://www.city.mitaka.tokyo.jp/

携帯サイト
http://www.city.mitaka.tokyo.jp/i/



今号の紙面から

証明書交付サービスを一部停止
します4面

東日本大震災関連情報5面

情報公開制度・個人情報保護制度の
仕組みと運用状況 6・7面

市からのお知らせ 11面から

安全安心・健康長寿のまちづくりの 拠点整備に向けて!

新川防災公園・多機能複合施設(仮称)の 基本設計がまとまりました



南東側からの公園イメージ

市は、「新川防災公園・多機能複合施設(仮称)整備事業(市民センター周辺地区防災公園街区整備事業)」について、基本設計を進めてきました。このたび、その内容がまとまりましたので、概要についてお知らせします。

事業概要

市民のみなさんの安全安心と市民サービスの向上を図るため、市役所東側の東京多摩青果(株)三鷹市場跡地を中心とした約2.0haに、災害時の一時避難場所となる防災公園と、健康・スポーツ施設、老朽化し耐震性に課題のある公共施設を集約化した多機能複合施設を整備します。事業の推進に当たっては、将来の財政負担に大きな影響がないよう、独立行政法人都市再生機構の防災公園街区整備事業として国庫補助金を活用するなど負担の軽減を図り、早急な整備を目指します。

◆基本設計は多様な市民参加により進められました

市は、平成22年3月にパブリックコメントを経て策定した「市民センター周辺地区整備基本プラン」を踏まえて基本設計を進めていくに当たり、広くみなさんのご意見・ご要望を把握し、施設計画に反映させるため、平成22年5月に「市民センター周辺地区整備に関する検討委員会」を設置し、同年5月～12月に計5回の委員会を開催しました。

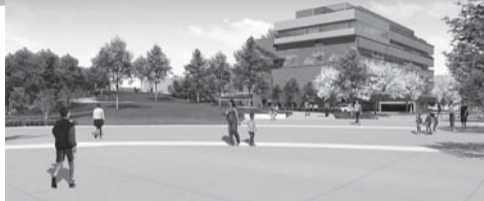
検討委員会は、関係団体や審議会などの代表者、公募などの市民15人で構成され、配置、平面プランなどの施設計画や管理運営の方向性などについて検討を行いました。検討に当たっては、各委員が所属する関係団体などに情報提供を行うとともに、そこでの検討状況を検討委員会にフィードバックすることにより、多層的・多層的に意見や要望などを把握しながら進めてきました。

問 都市再生推進本部事務局 ☎内線2051

整備方針

- 防災公園として一時避難場所になる広場を確保するとともに、防災センター(仮称)を整備し、公園、多機能複合施設部分、隣接する市役所などの市民センターが一体となった防災拠点機能の充実を図ります。
- 市の中心拠点である市民センターと「緑と水の回遊ルート」をつなぐ連続した緑を創造・成熟させ、緑のネットワークを強化して、地域特性を生かした緑豊かな景観形成を図ります。
- 市民サービスの拠点とするために、一時避難場所になるオープンスペース、災害対策機能を持つ健康・スポーツ拠点施設など、さまざまな機能の複合化を図ります。

くわしい内容は2面をご覧ください



北西側入口・西側広場からの公園イメージ

完成予想 イメージ



北東側入口・東側広場からの公園イメージ



広場からの公園イメージ

設計概要

敷地面積 20,429.42㎡
(公園部分 15,335.74㎡、
多機能複合施設部分 4,658.06㎡
道路部分 435.62㎡)
建築面積 8,678.5㎡
延べ床面積 23,859.9㎡
階数 地上5階、地下2階

※公園部分=敷地東側の防災公園・スポーツ施設部分
多機能複合施設部分=敷地西側の集約化する公共施設部分
道路部分=敷地北側の市道拡幅を行う部分

市長コラム

「みたか」行きのネコバスに
乗ってきました!

三鷹市長 清原慶子

6月のはじめ、私は、宮崎駿監督のアニメーション映画「となりのトトロ」に登場するネコバスに乗ってきました写真。全長約8メートル、大きな目に歯をむき出したネコバスの行き先には「みたか」の字がしるされています。行き先は、宮崎駿監督の指示だったそうです。

三鷹市立アニメーション美術館(三鷹の森ジブリ美術館・日時指定予約制)は、2001年10月1日の開館以来10年目を迎えており、愛されている展示の一つが、2階にある「ネコバスルーム」です。普段、おとなは入れませんが、ネコバスに乗ることができると子どもたちを羨ましく思っていたおとなの皆様に吉報です。6月4日から来年の5月までの予定で始まった企画展示「ねこバスから見た風景展」では、ネコバスにおとなも乗ることができそうです。

こんもりした森、田んぼのあぜ道などの風景を、実際にネコバスに乗って、窓からみることが出来ます。私は父の故郷で実際にこうした風景を見たことがありますが、胸に込み上げてくるような展示です。

さらに、「となりのトトロ」のオープニング曲「さんぽ」を作詞された児童文学作家中川李枝子さんの原作を、宮崎駿監督が企画・構成した新作短編映画「たからがし」も館内の「土星座」で上映が始まりました。主人公の男の子とうさぎと一緒に競い合う様子をスピード感たっぷりに描いた作品で、映画を見ることで、文句なく心が浄化されるような作品です。これで、土星座だけでしか上映されないジブリの短編映画は9作目となりました。

さて、三鷹の森ジブリ美術館を運営する公益財団法人徳間記念アニメーション文化財団の理事長に、初代の故・氏家齊一郎氏を引き継ぎ、6月から開館以来「館主」であった宮崎駿監督が就任されました。これからますますジブリ美術館の魅力を輝かせてくださることでしよう。



©Museo d'Arte Ghibli ©Studio Ghibli